

緑と生きよう！「いのちの木」 生誕を祝い、木とともに愛が根付く苗木贈呈

Let's live with green! "Life as Tree"

Celebrating birth, presenting saplings
that full of love that grow together with trees

グループ名：チームPOMI

学生氏名¹⁾：有川睦未, 梶谷貴美子, 田中直美, 中間千晴, 森本清香

指導教員 教員氏名¹⁾：前田幸男

1) 所属先：創価大学 法学部 法律科 前田ゼミ

キーワード：苗木, 新生児, 人と自然, 写真

1. はじめに

わたしたちは、幼少から八王子市と自然(木)への愛を根付かせ、さらに市民の定住意向を高める為に、『いのちの木』プロジェクトと冠した苗木贈呈と写真コンテストを提案したい。

このプロジェクトは、「長期ビジョン（(仮称)はちおうじ未来デザイン2040）」（以下、長期ビジョン）の基本理念である、『人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子』を実現するために必要な取り組みである。

2. 現状分析

長期ビジョンによると、八王子市は、2040年には、約8.5万人人口が減少し団塊の世代がピークに達するといわれている。ここで八王子市に要請されるニーズには、八王子市の市街地にあたる中央地区では緑化を進めることや、ほかの5つの地域は育児のことを考え自然が豊かであることが挙げられる。八王子市には緑化に対する取り組みとして、八王子市緑化条例による植樹義務がある。また、こどもと自然の関係づくりとして木育の取り組みや環境教育などがある。しかし、植樹、教育といった様々な取り組みがあるが、市民がこどものころから自然と一緒に成長を感じられるような機会が設けられていない。

3. 先行事例

苗木贈呈を行っている先行事例として以下の三市を挙げる。一つ目は、東京都武蔵野市の誕生記念樹である。武蔵野市は、出生時に武蔵野市民として住民登録した新生児に対して苗木を贈呈している。樹種は屋外用と屋内用から選ぶことができ、昨年度は430本の苗木を贈呈した。二つ目は、栃木県宇都宮市の出生記念樹の贈呈である。宇都宮市では「緑豊かな松づくり」を推進しており、その一環として出生により新たに宇都宮市民となった人に向けて苗木を贈呈している。樹種は維持管理が易しさを基準に選定され、13本の樹種に加え、球根セット等も選択することができる。三つ目に、埼玉県越谷市の記念樹の贈呈である。越谷市は年間を通して苗木を贈呈している。市役所で常時補充しており、希望すればいつでも苗木をもらうことができる。これらの先行事例を参考にするとともに、私たち独自の視点を取り入れ次の提案を考えたい。



埼玉県越谷市の記念樹贈呈の様子

4. 提案内容

私たちは「いのちの木」と題して、新生児の誕生記念苗木贈呈と写真コンテストを提案する。新生児の誕生に伴い植樹を行うことで、子どもと自然の成長を同時に体感することや、幼少から自然に対する親近感を育むことに繋がる。また、苗木を贈呈するだけでなく、写真コンテストを通じ贈呈後の成育状況の把握に努める。記念植樹を行っている自治体を調べていく中で、贈呈後のフォローアップ体制が無く苗木を枯らしてしまうといった事例を発見した。そこから、本プロジェクトでは、写真コンテストという形で植樹者との接点を増やし、プロジェクトの実効性を高めたい。

より具体的な提案内容として、誕生記念植樹では新生児の戸籍登録に合わせてプロジェクトを紹介し、希望者に屋外への植樹向きの苗木、もしくは室内向きの観葉植物を選択してもらい贈呈する。このプロジェクトは、年間を通して苗木を贈呈することで希望者の要請に応え植樹の推進を強めていく狙いがある。また、写真コンテストでは植樹を行った市民から実際に育てている木と共に撮影した写真を募集する。送られてきた写真はコンテストだけでなく、更なる苗木贈呈希望者の増加に向けた広報・宣伝にも活用したい。私達は以上の提案を行う。

5. 効果

今回インタビューを行った栃木県宇都宮市の出生記念樹の贈呈や、他の市の取り組みに対して、市民の方から「子どもと一緒に育てていきたい」「子どもの成長とともに記念樹の成長も喜ぶことができ、とてもありがたい」といった感想が多く寄せられている。このことから、取り組みを通して市民と自然の距離が縮まり、自然に対して愛着が湧くと考えられる。

八王子市は公共の場では緑化が進み自然豊かであるが、私有地の緑化に関しては市からのアプローチが難しく発展の余地がある。そこで私たちの「いのちの木」プロジェクトを進めることで市民側から緑化を推進し、家庭からの自然と触れ合う

機会の増加が見込まれる。そして、八王子市への愛着が根付き、住み続けたい街へと市民の思いが変化していく。

また写真コンテストの開催によって、市と市民が繋がる機会が生まれ、市民との関係作りと育成状況の確認が可能になる。また、送られてきた写真が苗木贈呈希望者の増加に繋がり、より一層の緑化推進を実現する。

6. 今後の展望

今回の提案は、八王子市の長期ビジョンにある、〈都市像〈私たちが目指すまち〉〉の、3 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち、6 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまちの実現に直結すると考える。

また、今回の提案は対象を新生児の誕生時に限るが、今後は本提案を発展させ新生児だけでなく婚姻や成人などより幅広い方を対象にしていきたい。対象者の拡大によって、自然と八王子市、そして自分との繋がりを意識する機会をより多くの人へと提供することができる。

加えて、本来は住んでいる土地に植樹した木が根付くことで愛着を持つ為、今後は公共の場で市民が植樹を行えるようにしていきたい。そうすることで、長期ビジョンの〈まちづくりの基本理念〉である「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」を市民と協働して創り上げることができる。

6. 参考文献

未来デザイン室. (2021年9月30日). 参照日: 2021年10月18日, 参照先: 「長期ビジョン ((仮称) はちおうじ未来デザイン2040)」の策定について: <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/001/p027039.html>